

第14章 バプテスト

バプテスト教会には、個々の教会を拘束、規定するいかなる信仰箇条もありませんが、なおそこには信仰の共通基盤といえるものがあります。それらは信仰告白、信仰宣言といった形をとって今日に残されています。

例：日本バプテスト連盟信仰宣言、ロンドン信仰告白、スタンフォード信仰告白、第二ロンドン信仰告白、フィラデルフィア信仰宣言、ニューハンプシャー信仰宣言など。

その特色は・・・

- ・信仰の面では聖書主義
- ・教会の運営の面では、神様を主とした会衆政治にあります。

1. 聖書主義：

イエス様の絶対主権と導きのもとに、旧約の啓示の成就である新約聖書に信仰と生活の基準をおきます。旧・新約聖書はイエス様による福音を著しています。両者は、預言と成就の関係にあります。バプテスト教会は一切の固定化した教理、信条、教権などをもちません。聖書の伝える福音と聖霊の導きを重んじます。

2. イエス様のみが仲介者：

イエス様の贖いによる神様と人々との直接の交わりを主張し、教会、牧師、礼典などの仲介的^{くどく}功徳を認めません。イエス様のみが唯一の仲介者です。

3. 自覚的な信仰の尊重：

信仰によって新生することだけが、バプテスマを受けて教会員となるための唯一の条件であって、信仰のないものに対するバプテスマを行いません。

これは聖書において主が命じられた秩序であって、教会が自らを真に霊的な新生者の団体として保つための大切な前提です。

教会員は各自自覚的な新生者でなければならないというバプテストの主張は、教会に常に新しい霊的活動力を与えてきました。

4. バプテスマの形と意味：

バプテスマという意味はもともと「水に浸^{しず}める」ということで、その方法は明らかに浸^{しんれい}礼です。主イエス様はバプテスマを受けられました（マタイ3章13 - 17節）。

パウロもまたイエス様と共に死に埋葬され、イエス様と共に復活して永遠の命に生きるという形をバプテスマの中に求めています（ローマ6章3節 - ）。

バプテスマは、信仰告白を伴います。

5. 万人祭司主義： ばんにんさいししゆぎ

すべての教会員は祭司です。神様とこの世界との仲介役として、福音のために使命を担います。牧師と聖徒の間に身分的上下関係や区別がありません。

しかし、牧師と聖徒とはその召命、賜物、職務の点で異なっています。

バプテストの理想とする教会の運営は、牧師と聖徒がすべて平等の立場で神様のみ心を祈り求め、教会の重要な課題について積極的に祈り話し合い、協働して成し遂げてゆくことです。

6. 各個教会主義

聖徒ひとりびとりが自主・平等であるように、各個教会も自主独立・自治であって互いの間にはどのような支配関係も許されません。

バプテストの諸教会は地域的な連合（地方連合・日本バプテスト連盟）を組織して、相互に対等な立場から、連帯・協力いたします。

7. 政教分離

各自の自由の尊重から、必然的に信仰と政治、教会と国家の明確な分離の主張が生まれ厳守されます。しかしこの主張は、聖徒の政治的発言を封じるものではありません。信仰的決断は当然、社会的決断を伴うものです。バプテストの政教分離の主張は、宗教的自由を求めて多くの国々で繰り広げられた戦いに対して、指導的役割を果たす結果となりました。

バプテストの歴史については、いろいろな資料がありますのでどうぞご覧下さい。

バプテストは、非常に自由な教会、燃えている教会として歩んできました。

ヨーロッパではもちろん、アメリカではプロテスタント最大の教派です。

伝道者ビリーグラハム、黒人解放のキング牧師などはバプテストの人です。

熱心な世界伝道だけでなく、医療活動、奉仕活動、などにおいても広がりや深さをもっています。バプテストの群れは世界中に広がっています。

また、他の教派のキリストの家族を愛し、祈り、協力し合っています。

日本においては350ほどの教会伝道所があり、

また西南学院（中・高・大・女子大）、

バプテスト病院、医療団、

久山療育園（重度心身障害者施設）、特別養護老人ホーム、看護学校などの協力機関をもっています。

ここからは教会員のためです

教会籍を移す時には...

教会の会員であるということは、

イエス様のお体の部分を受け持つということでもあり、

とても大切なことです。

そこで、教会籍を移す時には、教会間で次のような作業を慎重にいたします。

基本的には...受け入れる教会の準備が整った時に、転籍の実務が開始されます。

現在B教会に出席していて、A教会からB教会に転籍する場合

< A教会 B教会 >

ご本人の希望をB教会（牧師か代表者）に申し出てください。

B教会内の執事会、あるいは信徒会などで検討されます。

転籍するためには、そのための学びや約束が必要な場合がよくありますが、それを終了した場合、好意的に迎え入れることがほとんどです。

B教会からA教会に「転籍依頼書」が送られます。

A教会内で検討されます。総会あるいは信徒会で審議・決議されます。

これも励ましと共に送籍される場合がほとんどです。

A教会からB教会に「送籍書」が送られます。

A教会、B教会、双方の教会で、転籍が終了したことが報告されます。

*これにあたらぬこともございます。

わからないことはどうぞ自由にご相談下さい。

他行教会員から現在教会員になるには...

教会が神様のみ心により良く仕えることができるように、聖書の教えとキリスト教会の歴史に基づいて考え、私たちは教会規則を決めています。

現在の教会規則によりますと、一年間、教会の定期集会に参加されず、かつ、什一献金をされなかった場合、現在教会員であった兄弟姉妹は、他行教会員となります。

具体的には総会の議決権などの停止ということがありますが、私たちの命が神様との活きた関係に基づくということから考える時、他行教会員であるというのは非常に残念なことであると思います。

そこで、教会では他行教会員から現在教会員に戻る道を用意しております。

具体的には、以下のように手続きが進められます。

- 1．ご本人に現在教会員に復帰したいというご意志があり、その旨を申し出られること。
- 2．教会員の約束（13 - 4を参照）に合意すること。
- 3．執事会で判断し、復帰を認められること。

わからないことはどうぞ自由にご相談下さい。